

「日本における灸療法の実態調査」 回答のお願い

この調査は、日本における「灸」の現状を明らかにすることを目的としています。灸の歴史は古く、治療や養生のために行われ、日本人の健康の維持・増進に貢献してきました。しかし、近年、社会的な灸の注目度は低く、臨床上也灸の活用は低調であると見なされ、灸臨床における実態も不明な点が多いのが実情です。

そこで、本調査は、日本の灸療法の実態を調査し、鍼灸治療の場で灸治療がどの様に行われ、また、臨床家が灸をどの様に考えているか等を明らかにして、灸が鍼灸治療やヘルスケア、セルフケアに活用されるための課題を見だし、灸の発展に繋がりたいと考えています。調査へのご協力、よろしくお願いいたします。

1. 本調査は、国家資格を有する「きゅう師」のみが対象となります。
2. 本調査は無記名で実施し、調査結果は、統計処理の後に数字で報告いたしますので、回答者の個人情報や個人の回答内容が明らかになることはありません。
3. 本調査は、筑波技術大学研究倫理委員会の承認(承認番号 2022-27 号)を受け、実施しています。
4. 本調査票への回答は、google フォームのみで行えるようにしています。
5. 本調査への回答は、調査の内容を十分に理解した上で、「自分の自由意思により本研究の研究対象者となることに同意」されたもの、とさせていただきます。
6. 本アンケートのセキュリティは、使用する Google フォームの対策に依拠しており、それ以上の対策は講じられておりませんので、ご了承下さい。
7. 本調査の回答後に、回答の撤回を希望する方は、下記の「つくば国際鍼灸研究所」まで、ご連絡下さい。(なお、撤回は2023年3月4日までと致します。)

記入にあたってのご注意

- ☆ 質問はQ 1 から順番にお答えください。
- ☆ 回答は1つだけのものと、複数回答可のものがあります。
- ☆ 灸関係の用語で、意味が不統一のものがありますが、その様な用語には本調査票内での定義を示しましたので、その用語の考え方でご回答下さい。
- ☆ 回答の締め切りを2023年2月24日(金)と致します。

*本調査に関する問い合わせ、回答撤回連絡先；つくば国際鍼灸研究所。なお、貴メールの件名の頭に、必ず、<灸調査>とお付け下さい。

2023年1月25日

つくば国際鍼灸研究所

〒305-0051 つくば市二の宮 2-17-10-203 所長；形井秀一
所員；小井土善彦、辻内敬子、星慎一郎、林朋恵、松本毅、渡邊大祐
メール送付先；tsukuba@doho-acu-moxa.com